

人が命を全うして安らかに人生を締めくくることそれが大往生

第49回

大

往

生

の

勉強会

<葬儀>大なり小なり必要なのが葬送です

あるアンケートによれば「もし、一人きりで最期を迎えることになったら……。」と心配している単身の方が50パーセント近くあるとあります。

一人で死ぬのは単身の人とは限りませんが、単身の人では、「死後誰にも気づかれずいることになるのが心配だ。」と考える人が多いということです。

葬儀はどの時代にも多くの人の関心事でした。今私たちが迎えようとしているのは超高齢、多死時代、そればかりではなく生涯未婚の男女の数が増加し、男性4人に一人、女性7人に一人という数字が国立社会保障・人口問題研究所の調査で分かりました。配偶者の死亡などで“おひとりさま”になった人を加えると、さらに単身者の数は増えるのです。

高齢者を含め多くのおひとりさまの葬送（病院からお墓まで）の支え手が必要です。自分自身の葬送、家族の葬送をどのように実現すればよいかを学びましょう。

- 日 時 2017年6月30日（金）午後2時～4時
■会 場 浦和コミュニティセンター 第14集会室
浦和駅東口駅前 コムナーレ10階
■講 師 須齋美智子 NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター理事長
■定 員 72名
■資 料 代 700円
■申込み 電話 048-855-1238 FAX 048-855-1006 Email office@npolec.org
■主 催 NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター



☆ 公民館、公共施設、市民団体、一般企業などに講師を派遣しています☆

NPO法人 ライフ・アンド・エンディングセンター